

セッション名	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
主題1-1	軽度・中等度難聴に 対する聴覚リハビリテーション	10132	1	軽度・中等度難聴に対する聴覚リハビリテーションに関する一考察 －当科における補聴器適合検査の実情から－	10月21日（木）	9:35～10:50	第1会場 (1F 上條ホール)
		10117	2	軽中等度難聴に対する補聴器フィッティング			
		10172	3	岩手県における軽度・中等度難聴児に対する補聴器装用の臨床経過			
		10018	4	高齢補聴器装用者に対する聴覚リハビリテーションの試み			
		10129	5	補聴器を購入する人しない人			
主題1-2	軽度・中等度難聴に 対する聴覚リハビリテーション	10137	6	中等度難聴児におけるナラティブ構成の特徴と補聴開始月齢等の関連要因の検討	10月21日（木）	14:40～15:55	第1会場 (1F 上條ホール)
		10181	7	軽中等度難聴児における他者感情の推測能力の発達に関する事例的検討			
		10050	8	軽度中等度難聴者が自身の聞こえに関する「気付き」を促進するための試み			
		10189	9	軽中等度難聴例と人工内耳装用例の聞こえと心理社会的状況に関する主観的評価： 高等教育機関学生の検討			
		10010	10	デジタルワイヤレス補聴援助システムが軽度・中等度難聴児の心理に及ぼす影響についての検討			
主題2-1	若年発症型 両側性感音難聴	10182	72	当院における若年発症型両側性感音難聴患者に対する補聴器導入症例の検討	10月22日（金）	9:35～10:50	第1会場 (1F 上條ホール)
		10110	73	岩手医科大学における若年発症型両側性感音難聴の長期観察症例の検討			
		10133	74	若年発症型両側性感音難聴の診断基準改定			
		10131	75	若年発症型両側性感音難聴の発症後早期の臨床的特徴			
		50000	76	若年発症型両側性感音難聴症例の検討			
主題2-2	若年発症型 両側性感音難聴	10169	77	原因遺伝子解析に基づいた若年発症型両側性感音難聴の診断意義	10月22日（金）	10:50～11:50	第1会場 (1F 上條ホール)
		10194	78	岩手医科大学における難聴の遺伝学的検査症例の検討（追加解析報告症例）			
		10014	79	若年発症型両側性感音難聴の原因遺伝子KCNQ4による難聴発生メカニズムに迫る			
		10108	80	TECTA 遺伝子変異が同定された常染色体優性遺伝性難聴家系における聴力象の検討			
第1群	補聴1	10084	11	当院の補聴器外来における補聴器装用の現状	10月21日（木）	16:00～16:40	第1会場 (1F 上條ホール)
		10153	12	当院補聴器外来における比較試験システムについての検討			
		10171	13	75歳区切りの年齢群別にみた補聴器導入による変化－7大学病院共同HA-ProA study			
		10192	14	シニア難聴者の補聴器導入や装用継続の背景や要因 －7大学病院共同研究における信州大学症例の検討－			
第2群	聴覚障害児療育1	10152	15	難聴を主訴として2018年、2020年に当科を初診した3歳未満児の検討	10月21日（木）	9:35～10:15	第2会場 (4F 赤松A)
		10039	16	両側性感音難聴児の新生児聴覚スクリーニング受検状況と聴覚補償			
		10075	17	地域で集団保育を受ける人工内耳装用児に対する支援の実態			
		10078	18	我々の臨床で支援を続けてきた人工内耳装用児の長期経過			
第3群	聴覚障害児療育2	10095	19	学齢期の難聴児における言語情報と感情情報の一致・不一致の判断： 視覚情報と聴覚情報の比較から	10月21日（木）	10:15～10:55	第2会場 (4F 赤松A)
		10113	20	聴覚を活用した聾学校在籍児童・生徒の歌唱能力について －斉唱音声の音響分析から－			
		10092	21	主要5因子性格検査による人工内耳装用小学生・中学生のパーソナリティの分析			
		10016	22	両側高度難聴を伴ったNoonan症候群1例の3歳までの言語指導経過			
第4群	耳鳴1	10053	23	補聴、音響治療の観点からの耳鳴患者の分類と無難聴的耳鳴	10月21日（木）	14:40～15:30	第2会場 (4F 赤松A)
		10041	24	Bilateral Contralateral Routing of Signals) によるTRTを試行した2症例の検討			
		10149	25	一側性感音難聴に伴う慢性耳鳴患者に対する補聴器による音響療法の治療効果 ～治療開始1年後までの経過～			
		10159	26	一般市中病院における慢性耳鳴患者95例に対する補聴器による音響療法の治療成績			
		10167	27	骨部外耳道設置型イヤーマールドによる補聴器音響療法			

セッション名	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
第5群	耳鳴2	10005	28	耳鳴患者における頭痛の併存とその影響	10月21日（木）	15:30～16:30	第2会場 (4F 赤松A)
		10063	29	耳鳴の緩解や増悪に対する日常生活の因子の検討			
		10065	30	慢性耳鳴に伴う男女の睡眠障害についての検討			
		10157	31	筋性他覚的耳鳴の検討			
		10160	32	耳鳴患者への教育的カウンセリングの効果についての検討			
		10191	33	耳鳴患者に対する自覚的難聴の検討			
第6群	聴覚心理	10060	34	聴力正常な聞き取り困難例における聴覚的注意能力について —両耳分離聴下での聴覚二重課題による検討—	10月21日（木）	9:35～10:15	第3会場 (4F 赤松B)
		10140	35	ギャップ検出閾値に測定方法が与える影響—語音聴取能との関連を含めて—			
		10136	36	聴覚障害者における環境音聴取時の脳活動に関する事例的検討			
		10179	37	臨床現場で用いられる単音節音源を用いた子音ホルマントの検討			
第7群	聴覚リハビリテーション	10193	38	先天性高度難聴小児のコミュニケーションモードと脳機能	10月21日（木）	10:15～10:55	第3会場 (4F 赤松B)
		10080	39	急性感音難聴固定後の早期聴覚リハビリテーションの検討			
		10058	40	思春期から青年期の難聴者が持つ代償・補償スキルと知識に関する一考察			
		10100	41	LENAシステムを用いた「家庭での語りかけの数」の評価と人工内耳装用効果の関係			
第8群	聴覚障害1	10008	42	めまい症状から高度難聴に至った多発性硬化症再発例	10月21日（木）	14:40～15:40	第3会場 (4F 赤松B)
		10036	43	急性難聴を反復し一側聾となったパーチエット病の1例			
		10089	44	診断に苦慮したCogan症候群の1例			
		10168	45	当科におけるCogan症候群症例の検討			
		10170	46	CHARGE症候群当科7例における聴覚的特徴の検討			
		10070	47	両側混合性難聴を合併したCampomelic dysplasiaの一例			
第9群	聴覚障害2	10025	48	健側と比較した突発性難聴の新しい聴力評価法について	10月21日（木）	15:40～16:40	第3会場 (4F 赤松B)
		10031	49	疫学調査結果に基づいた突発性難聴の治療アルゴリズムの実臨床での適用について			
		10076	50	健側聴力に着目した突発性難聴予後不良因子の検討			
		10112	51	突発性難聴の治療成績の検討			
		10127	52	突発性難聴とCAVIの相関に関する研究			
		10158	53	突発性難聴に対する高気圧酸素療法による滲出性中耳炎発症例と非発症例の比較			
第10群	聴性誘発反応	10090	54	当科における蝸電図検査の工夫	10月21日（木）	9:35～10:15	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10107	55	ヒトABRのVI・VII波の起源について - 脳血管障害後の両側聴皮質・聴放線障害6症例とヘルペス脳炎4症例の考察 -			
		10151	56	次世代型ASSR検査機器SENTIEROの使用経験			
		10166	57	小児例におけるchirp音刺激によるASSRの刺激頻度の違いによる反応閾値への影響			
第11群	人工中耳、人工内耳1	10186	58	当科における人工内耳埋込術症例の検討	10月21日（木）	10:15～10:55	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10180	59	当科における髄膜炎後難聴に対する人工内耳埋込術後の聴取成績に関する検討			
		10106	60	人工内耳手術を施行した13q-症候群の2例			
		10015	61	蝸牛神経低形成症例における装用閾値についての検討			
第12群	人工中耳、人工内耳2	10138	62	ナノエレクトロニクスを応用して周波数分解能を向上した新規人工内耳の設計例	10月21日（木）	14:40～15:30	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10165	63	残存聴力活用型人工内耳（EAS）のマッピングにおける低音域の刺激方法の検討			
		10118	64	残存聴力活用型人工内耳（EAS：electric acoustic stimulation）装用者で 術後早期から聴力変動した1症例			
		10195	65	Vibrant soundbridge [®] 術後の裸耳聴力温存の意義			
		10196	66	Bahaサウンドプロセッサ—の機種変更による聴取効果の比較（BP100 vs Baha5）			

セッション名	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
第13群	聴覚検査1	10066	67	京都市立小中学校難聴学級聴覚検診における難聴児の聴力変動 1) 各周波数での検討	10月21日（木）	15:30～16:20	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10069	68	京都市立小中学校難聴学級聴覚検診における難聴児の聴力変動 2) 聴力型別の比較検討			
		10064	69	就学時検診・学校検診を契機に当科を受診した児の聴力精検結果			
		10021	70	青森県における新生児聴覚スクリーニングの現状			
		10150	71	宮崎県新生児聴覚検査事業における確認検査の効果的実施に関する検討			
第14群	聴覚障害3	10067	84	高齢難聴者の健康関連QOLに影響する要因の検討	10月22日（金）	14:50～15:30	第1会場 (1F 上條ホール)
		10146	85	「きこえの相談」における高齢難聴者の現状			
		10144	86	難聴高齢者における純音聴力・語音明瞭度と高次脳機能の分析			
		10017	87	一般地域住民における補聴器使用と認知機能低下の関連について			
第15群	聴覚障害4	10163	88	Cavity problemに対する浅側頭動脈筋膜弁を用いた軟組織再建術と聴力改善の意義	10月22日（金）	15:30～16:20	第1会場 (1F 上條ホール)
		10123	89	NHS後の精密検査で認めた滲出性中耳炎症例の検討			
		10023	90	片側感音難聴患者の良聴耳に発症した急性感音難聴の治療成績			
		10124	91	進行性の経過を辿った小児難聴症例の検討			
		10071	92	側頭骨HRCTで上半規管裂隙を認めた99症例の再構築画像を用いた検討			
第16群	聴覚基礎1	10072	93	マウス大脳聴覚野における音の立ち上がり (Rise) 検出メカニズム	10月22日（金）	9:35～10:15	第2会場 (4F 赤松A)
		10011	94	難聴耳の左右差における脳構造・機能の変化について～VBMの研究より～			
		10103	95	STRC遺伝子 knock outゼブラフィッシュの作成について			
		10134	96	成熟したマウス有毛細胞ヘアデノ随伴ウイルスを単独及び複数投与した際の遺伝子導入効率について			
第17群	聴覚基礎2	10057	97	超高周波音の聴こえと曝露実態計測-その1:児童に対する主観的閾値の計測	10月22日（金）	10:15～11:05	第2会場 (4F 赤松A)
		10051	98	超高周波音の聴こえと曝露実態計測 その2: 児童に対する ABRによる閾値計測			
		10059	99	臨床応用を目指した全身免疫機能改善による加齢性難聴の予防と機序の解明			
		10162	100	コモンモーセットの難聴モデルにおける脳Voxel Based Analysisおよび行動解析			
		10073	101	語音明瞭度別の異聴傾向と有効継続時間 (te)			
第18群	聴覚基礎3	10085	102	超高周波音の聴こえと曝露実態計測-その3:ダミーヘッドを用いた耳介周りの音圧計測	10月22日（金）	11:05～11:55	第2会場 (4F 赤松A)
		10074	103	超高周波音の聴こえと曝露実態計測-その4:家電製品から放射される高周波音・超音波の観測			
		10056	104	人工中耳振動子の留置位置による基底板振動の変化:ヒト蝸牛有限要素モデルによる数値解析			
		10045	105	悪性腫瘍側頭骨転移例の側頭骨標本における蝸牛内細胞障害の関連性について (第3報)			
		10091	106	爆傷動物モデルにおける鼓膜穿孔と聴覚障害について			
第19群	聴覚検査2	10082	107	高頻度クリック刺激のみによる耳小骨筋反射の測定	10月22日（金）	14:50～15:40	第2会場 (4F 赤松A)
		10155	108	聴神経腫瘍における耳小骨筋反射欠如率			
		10079	109	純音聴力検査での3000Hz測定の意義			
		10173	110	ラバー-負荷重心動揺計による急性感音難聴の予後評価			
		10156	111	メニール病確実例における語音明瞭度曲線のRollover現象についての検討			
第20群	聴覚検査3	10135	112	健診部門における聴脳力チェックアプリを活用した簡易聴覚スクリーニングの有用性の検討	10月22日（金）	15:40～16:20	第2会場 (4F 赤松A)
		10114	113	音像空間を用いた雑音下聴取検査に関する基礎的検討			
		10190	114	VRA (Visual Reinforcement Audiometry) で乳幼児のリング6音検出閾値を左右耳別に推定した2症例			
		10081	115	側方注視による音像定位変化の年齢による影響			

セッション名	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
第21群	人工中耳、人工内耳3	10187	116	小児人工内耳症例における予後不良因子の長期観察	10月22日（金）	9:35～10:25	第3会場 (4F 赤松B)
		10115	117	高齢者における人工内耳装用後の聴取成績の経過について			
		10126	118	当院における乳幼児を対象とした人工内耳装用児への遠隔マッピングの試み			
		10077	119	オンライン会議システムを用いて遠隔診療施設と共同でマッピングを行った人工内耳小児例			
		10101	120	Custom Sound® Proを使用した人工内耳の患者在宅遠隔マッピング			
第22群	人工中耳、人工内耳4	10130	121	Bimodal装用が雑音下の聴取能に与える影響	10月22日（金）	10:25～11:15	第3会場 (4F 赤松B)
		10188	122	成人中途失聴人工内耳装用者の雑音下聴取能の個人差と関与する要因の検討			
		10000	123	CI-2004検査リストを用いた音声認識システムの日本語認識精度の比較			
		10116	124	先天性難聴人工内耳装用例における音声からの話者弁別能力の検討			
		10052	125	就学前の補聴器装用児と人工内耳装用児における単音節異聴傾向の比較			
第23群	補聴2	10141	126	急性感音難聴の入院治療中に補聴器の試聴を施行した症例について	10月22日（金）	11:15～11:55	第3会場 (4F 赤松B)
		10147	127	補聴器を装用する重複障害児についての検討			
		10020	128	長期に片耳装用になった例に対する両耳装用についての検討			
		10200	129	補聴器外来における高度・重度難聴の聴覚管理－病診連携の中で－			
第24群	補聴3	10102	130	明瞭度改善を目的とした単音節初期エネルギー急峻化信号処理	10月22日（金）	13:20～14:10	第3会場 (4F 赤松B)
		10046	131	当科における補聴器適合不十分症例の検討			
		10105	132	雑音下での語音聴取に関する検討 ～加重不規則雑音が健聴者の語音聴取に与える影響～			
		10109	133	感音難聴患者の補聴器装用時における雑音下での語音聴取成績 ～難聴の程度に応じた評価すべき雑音条件～			
		10175	134	感音難聴患者の補聴器装用時における雑音下での語音聴取成績－年齢との関係性を中心に－			
第25群	補聴4	10028	135	日本語におけるNAL-NL法及びDSL法による補聴器フィッティングの検討	10月22日（金）	14:10～14:50	第3会場 (4F 赤松B)
		10038	136	聴覚障害の医療経済－経済分析モデルを用いた企業の立場からの推定			
		10062	137	聴器癌手術後患者に対する軟骨伝導補聴器fitting			
		10042	138	小児に対する軟骨伝導補聴器試聴症例の検討			
第26群	補聴5	10026	139	一側性外耳道閉鎖症例に対し軟骨伝導補聴器装用が雑音下聴取に与える影響	10月22日（金）	14:50～15:40	第3会場 (4F 赤松B)
		10001	140	軟骨伝導補聴器に対する東海地方の助成状況と経過			
		10022	141	軟骨伝導補聴器市販化後調査（4）－各群での購入に影響した要因－			
		10034	142	軟骨伝導補聴器市販化後調査（5）－各群での振動子の種類と装用継続率－			
		10121	143	骨導超音波語音の母音の刺激長と語音弁別の関係			
第27群	補聴6	10096	144	補聴器指向性の特徴	10月22日（金）	15:40～16:20	第3会場 (4F 赤松B)
		10178	145	人工内耳術後のバイモーダル装用継続に関わる要因の検討			
		10128	146	語音弁別能30%以下で補聴器装用を行った一側難聴患者の症例報告			
		10154	147	当科を受診した一側性難聴症例と非良聴耳への補聴器装用の適応について			
第28群	補聴7	10148	148	一側性難聴者における社会的支援のニーズに関する調査	10月22日（金）	9:35～10:15	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10176	149	一側性難聴患者の補聴器装用による自覚的改善に関する検討～聴力レベルとの関係を中心に～			
		10094	150	一側性高度難聴症例におけるクロス補聴器の効果について－購入者と非購入者の比較－			
		10119	151	一側性難聴例におけるCROS補聴器の装用効果について－雑音下語音聴取検査による検討			

セッション名	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
第29群	聴覚障害5	10083	152	本邦における成人一側性聴覚障害の実態調査結果について	10月22日（金）	10:15～11:05	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10199	153	一側性感音難聴の検討			
		10125	154	一側性難聴症例の主観的評価(HHIA)の検討			
		10142	155	一側性高度難聴に対する人工内耳希望者の雑音下語音検査について			
		10093	156	一側性高度難聴症例における裸耳の雑音下語音検査について			
第30群	聴覚障害6	10087	157	一側性高度難聴人工内耳手術希望者の方向感について	10月22日（金）	11:05～11:55	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10164	158	本邦における一側性聴覚障害の実態調査結果（20歳未満症例）について			
		10086	159	当院における小児一側性感音難聴症例の検討			
		10013	160	一側性難聴児の指導～通級指導担当教師への質問紙調査から～			
		10040	161	片側難聴児の雑音下でのことばの聴き取り成績（6歳での健聴児との比較）			
第31群	聴覚障害7	10044	162	当院における難聴の遺伝カウンセリングの現状	10月22日（金）	13:20～14:20	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10097	163	CDH23遺伝子のバリエーションが原因と考えられた難聴の一家系についての検討			
		10009	164	新型コロナウイルス感染対策は聴き取りを阻害する			
		10174	165	COVID-19感染予防対策における音の遮蔽と語音聴取に対する影響についての検討			
		10143	166	聞こえに対するマスクの影響の主観的評価			
		10049	167	コロナ対策マスク着用時の難聴児・者の困惑			
第32群	聴覚障害8	10027	168	心因性要因からみた小児機能性難聴の検討	10月22日（金）	14:20～15:10	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10088	169	2020年当科における小児心因性難聴の現況			
		10177	170	当科での小児機能性難聴症例の検討			
		10161	171	補聴器装用により改善した小児心因性難聴例			
		10145	172	考え方を整理することが症状の改善に役立ったと思われる聴覚過敏の一例			
第33群	聴覚障害9	10043	173	聴覚情報処理障害の聞き取り困難に関する一考察 -選択的注意に関連したスペクトラム障害としての一側面？-	10月22日（金）	15:10～16:10	第4会場 (B1F 富士桜1)
		10068	174	聴覚情報処理障害における標準注意検査			
		10120	175	聴覚情報処理検査を行った純音聴力検査正常で聞き取り困難を示す成人例の検討			
		10007	176	「言葉の聞き取り困難」症例（APD）における聴覚特性 方向感検査とHINT（Hearing In Noise Test）からの検討			
		10139	177	聴覚情報処理障害(APD)と診断された成人症例の実態と支援について			
		10006	178	A P Dスクリーニングを目標とした日本語版D T T の試作			